

【第3号様式】おきなわSDGs認証制度 継続認証 主要評価項目（アクションプランに基づく活動計画書）


初回申請から更新した箇所は黄色セル

1. 団体情報

企業・団体名	株式会社那覇電工
--------	----------

2. 申請内容

(1) 2030年のあるべき姿（ビジョン） ※記載必須

2030年のあるべき姿（ビジョン）		2030年のあるべき姿の実現へ向けて取り組むゴール ※SDGsの17のゴールから選択し、アイコンを入れてください。
※SDGsの目標である2030年までに、「(2) 今後2年間で特に注力する活動・取組」の実施によって、貴社/団体が目指す未来を記載ください。 (貴社/団体が目指したい社会、目標の達成に向けて貴社/団体が考える課題、それに対して貴社/団体ができる取組の方向性など)		
当社の経営理念である「社員とその家族の幸福を追求する」「お客様に信頼されるベストパートナーになる」「地域社会への貢献と地球環境の保全に寄与する」を達成し、わくわくした笑顔溢れる会社の環境づくりを進める。そのために「(2) 今後2年間で特に注力する活動・取組」に掲げる、ワークライフバランスの充実が課題であり、賃金UP、残業減、ハラスメント対策、出産・育児支援、女性活躍支援、資格取得支援、有給取得促進、休日数増等の諸施策を進める。また、県産品の使用および県内企業の優先活用を行い県経済の活性化に寄与する。カーボンオフセットの継続実施によりCO ₂ 排出ゼロ現場を実現する。地域との防災・復旧支援協定を締結、また、自社の事業継続力強化計画策定によりレジリエンス対策に寄与する。地域ボランティア活動を推進し地域貢献を行う。また、行事や団体活動等への寄付を通して地域活性化に寄与する。		

(2) 今後2年間で特に注力する活動・取組 ※最低3個（経済・社会・環境）は記載必須

No.	今後特に注力する活動・取組			おきなわ SDGsアクションプランとの関係性			関連するステークホルダー	補足事項・留意点等	貴団体におけるKPI（進捗管理指標）			
	概要	分類 ※任意の箇所は、プルダウンから分類を選択ください。	優先課題	SDGs推進の目標	関連するSDGs ターゲット	※連携・協力するステークホル ダーがいる場合に記入する。	※補足事項等があれば記入す る。	管理する指標	現状値 (2024年7月～ 2025年6月)	目標値 (2027年)		
1	当社理念「社員とその家族の幸福を 追求する」の達成のためにワークライ フバランスを充実させる	社会	必須	優先課題 ①	①→5	安全・安心で充実感を持って働くこ ができる労働環境を促進し、誰もが生 き生きと活躍できる社会を実現する。	8.5,8.6,8.8	● 年休取得の促進 ● 残業減少 ● 従業員の賃金UP	● 年休取得率 ● 月平均残業時間 ● 前年比1.69%UP ● 所得向上の種別企業認証 取得済 ● 奨学金利用者の調査 ● 申請中	● 60%以上 ● 30h未満 ● 前年比1.5%UP ● 奨学金支援制度への申請 の支援体制の整備に活用 ● 認証取得と継続		
2	沖縄で生まれた建築資材の利用、及 び県内業者（資材・施工業者）の積 極的活用	経済	必須	優先課題 ④	④→2	県内企業の稼ぐ力を強化し、観光と の連携・相乗効果なども活用すること で、域内経済循環の拡大や県民所得 の向上を実現する。	15.1,15.2	● 各現場単位の資材調達時に 地元企業の活用を最優先と する	● 県産品使用実績の有無 ● 県内業者への発注 （1現場30%以上） ● いずれかを達成した率	竣工案件：9件 ● 県産品使用実績： 5件（55.5%） ● 県内業者への発注実績： 9件（100%） ● いずれかを達成した実績： 9件（100%）	● 県産品使用実績： 60%以上 ● 県内業者への発注実績： 90%以上 ● いずれかを達成した実績： 95%	
3	カーボン・オフセットによる現場のCO ₂ 排出ゼロ現場の実施及び継続（購 入金の一部を増増保全及びヤンパ ル/クイナや/リオモヤマメソ保護団体 等の環境保護団体への寄付を含む）	環境	必須	優先課題 ⑥	⑥→2	2050年度カーボンニュートラルの実 現に向け、本件の地域特性にあったグ リーンエネルギーの導入拡大や省エネ ギー対策の推進、二酸化炭素吸収源 対策等が進み、災害に強い島しょ型の 脱炭素社会に向けた基盤形成を実現 する。	7.1,7.2,7.3 9.1,9.4,9.5 13.2	・一般財団法人沖縄県環境科学セン ター ・沖縄県サンゴ礁保全推進協 議会 ・認定NPO法人トラ・ソウ保護 基金 ・NPO法人どうぶつたちの病院 ・沖縄・クレジット創出者（県企業局・ 琉大等）	● 排出権の種類は3クレジット	● 年間のOS実施件数 ● 年間オフセット量 ● 累計数量	● 3件 ● 31t-CO ₂ ● 40件、2411t-CO ₂ (2025年までの12年間の 累計値)	● 3件 ● 61t-CO ₂ ● 46件、2531t-CO ₂ (2027年までの14年間の 累計値)
上記の取組に加えて、今後特に注力する取組があれば、記載ください。（分類を「経済・社会・環境・ガバナンス・地域課題への貢献・国際課題への貢献」から自由に選択ください）												
4	● 各行政及び自治会との防災・復旧 支援協定締結と協力の継続 ● 小尋・豊見城地区少年補導員協 議会活動の実施	ガバナンス	任意	⑨	⑨→1	行政、家庭、企業、ボランティア等の 地域社会を構成する各主体が一体とな って防災・防犯に取り組み、安全・安心 に暮らせる地域を実現する。	1.5 3.5,3.6 11.7,11.b 16.1 17.17	・一般社団法人沖縄県電気工事工業 協会（沖縄県） ・那覇電気工事協同組合（那覇市） ・豊見城市商工会 ・八重瀬町商工会（八重瀬町） ・豊見城町商工会 ・小尋・豊見城地区少年補導員協 議会 ・豊見城市 ・豊見城市青少年育成協議会 ・豊見城市防災士の会 ・与那国自治会	● 災害時における所管施設にかかる災 害復旧支援協定（総合事務局） ● 災害時における復旧業務の支援活 動協定（沖縄県） ● 災害時の支援協定（那覇市） ● 災害時等における電気自動車等か らの電力供給に関する協定（豊見城 市） ● 災害時における清掃応急対策協定（八重瀬町） ● 災害時における一時避難場所利用 及び電力供給に関する協定（与那国 自治会） ● 少年補導員個別活動状況報告書	● 各団体と締結した協 定の役割チェック（防災 訓練等） ● 毎月の巡回パトロー ル等 ● 事業継続力強化計 画の策定 ● 防災士資格の取得	● 災害時における所管施設にかか る災害復旧支援協定 （総合事務局） ● 災害時における復旧業務の支援 活動協定（沖縄県） ● 災害時の支援協定（那覇市） ● 災害時等における電気自動車等 からの電力供給に関する協定（豊 見城市） ● 災害時における清掃応急対策協 定（八重瀬町） ● 災害時における一時避難所対策協 定（与那国自治会） ● 少年補導員活動の継続 ● 地域防災活動への協力 ● BCPの各部署でマニュアル 化	● 総合事務局・沖縄県・那覇 市・豊見城市・八重瀬町との協 定締結、役割チェック ● 与那国自治会との協定に基づ いた防災訓練の継続 ● 豊見城市の中学校区におけ る防犯協議会の実施 ● 少年補導員活動の継続 ● 地域防災活動への協力 ● BCPの各部署でマニュアル 化
5	● 地域ボランティア活動の実施 ● 地域行事への寄付 ● スポーツ活動への協力・寄付 上記活動の継続	地域課題への 貢献	任意	優先課題 ⑩	⑩→1	県民一人ひとりが地域活動に積極的 に参加するローカルパートナーシ ップが充実した社会を実現する。	10.2 16.6,16.7 16.10 17.16,17.17	・沖縄県 ・那覇市/社協/商工会議所 ・豊見城市/社協/商工会/各自治 会 ・与那国町/社協/商工会/体育協 会 ・八重瀬町/社協/商工会 ・一般社団法人沖縄県電気工事業 協会 ・沖縄県電気工事工業組合 ・那覇電気工事工業共同組合 ・豊見城電友会 ・八重瀬町電友会 ・一般社団法人沖縄県サッカー協 会 ・公益財団法人沖縄県スポーツ協会	● 締結済協定 ● 那覇市公園ボランティア協定 ● 那覇市GRS協定 ● 豊見城市美化協定（電友 会） ● 自然災害による公共施設の 清掃等に関する協定（八重瀬 町商工会）	● ボランティア実施状況 ● 寄付一覧 ● 協力状況一覧	● 地域ボランティア 南部：38回/186名 中部：2回/6名 北部・種島：1回/2名 ● 地域行事への寄付 年9件 ● スポーツ活動への協力・寄付 年 7件、協賛2件	● 地域ボランティア 南部：3回/180名 中部：3回/6名 北部・種島：1回/2名 ● 地域行事への寄付 年7件 ● スポーツ活動への協力・寄付 年 3件、協賛2件

(3) 各活動・取組に関する詳細 ※記載必須

各活動・取組に関する詳細		
* 各取組内容を詳細に記載ください。なお、取組については現時点の達成度に限らず、将来的な展望や今後目指す展開についても必ず記入してください。		
取組 1	取組の詳細	当社理念である「社員とその家族の幸福を追求する」を体現するために、次の働く環境改善に取り組む。年休取得増、残業減、健康診断及び安全衛生チェックの実施、賞金UP、くるみん認証取得への挑戦、奨学金返還支援制度の活用
	取組において、現時点で実施／決定していること	年休取得率60%以上、残業時間30時間未満、賞金UP率前年比1.5%以上、残業時間については各部署会議および全部署合同会議の実施による状況確認と継続を行っている。有給消化率は2ヶ月に1回、取得状況の情報を各部署に共有している。毎年の健康診断（人間ドック）受診およびインフルエンザ予防接種のほか、産業医によるメンタルヘルスチェックの実施も行っている。引き続き「くるみん」の認証取得に向けた体制と活動を継続する。沖縄県の奨学金返還支援制度の活用について2026年度実施を目指す。
	取組において、今後予定していること	今後も賞金UPIは前年比1.5%以上を継続する。くるみん認証の取得に向けた活動の継続を行う。沖縄県への「奨学金返還支援制度」の申請を行う。
	KPIにする指標の設定理由、目標値の妥当性、指標の計測方法	年休取得率について、次の理由で増が難しくなっている。（１）基本的な休日数を増やした。（２）男性育児制度を導入したため、年休を使う必要がなくなった。これにより一時、取得率が減となったが、60%を目標として設定し継続したい。
	取組を推進する体制	総務部にて勤怠管理システムにより月ごとの状況を把握し、年でまとめ事務局へ報告する。
取組 2	取組の詳細	当社理念である「お客様に信頼されるベストパートナーになる」を実現するべく、沖縄で生まれた建築資材の利用と、県内業者（資材・施工業者）の積極的活用を行い、地元経済の活性化に寄与する。
	取組において、現時点で実施／決定していること	各現場における県産品の使用および資材と施工を県内企業へ発注（1現場30%以上）を、内線工事部会議、内線営業会議にて実施状況を確認している。また、最近は工期延長や請負金額の変更が多々あるため、それに伴う進捗状況の確認も継続して取り組む。
	取組において、今後予定していること	各現場の実行予算書を作成し、県産品の使用が可能か、県内企業への発注が可能かの確認をプロジェクト会議にて確認し進めることを継続する。この活動により県内企業の信頼を得て、お客様の満足度の向上へつなげる。
	KPIにする指標の設定理由、目標値の妥当性、指標の計測方法	基本的に現場の事情により県産品が使えなかったり、30%以上の県内企業への発注ができないこともあるので、いずれかが達成されていればOKとする。100万円以上の公共工事、1,000万円以上の民間工事を対象とする。
	取組を推進する体制	内線会議および内線営業会議にて各現場の担当者への啓蒙を行い、部署長が現場の進捗状況を実行予算書にて月ごとに把握し目標管理する。現場終了後に担当者は部署長あて報告を行い、部署長は事務局あて最終報告を行う。
取組 3	取組の詳細	CO ₂ 排出削減の取組：排出権創出者から排出権を購入することにより、当社が現場で排出したCO ₂ をゼロにする「CO ₂ 排出ゼロ現場」を実現する。また排出権購入金の一部をサンゴ礁保全協会やイリモテマヤネコやヤンバルクイナ保護団体の活動費として寄付を指定することで、保護及び保全活動の一助とする。持続可能な社会の実現に寄与できる活動であり、今後はボランティアイベント等の活動についてもカーボン・オフセットを実施していきたい。
	取組において、現時点で実施／決定していること	当社理念である「地域社会への貢献と地球環境の保全に寄与する」に資する活動として、公共工事およびイベント等で「CO ₂ 排出ゼロ現場」「CO ₂ 排出ゼロ事業」化に継続して取り組む。
	取組において、今後予定していること	現在行っている「CO ₂ 排出ゼロ現場」の継続と、昨年から取り組んでいるバラッドホールフュエルスタビリッシュ事業（主催：一般社団法人沖縄県サッカー協会）での「CO ₂ 排出ゼロ事業」の実施を継続して行う。並行して購入資金の一部をサンゴ礁保全団体等へ寄付してその活動の一助とする。
	KPIにする指標の設定理由、目標値の妥当性、指標の計測方法	年間の目標として3件、6 t - CO ₂ の実施を目指す。14年累計で4 6 2 5 3 t - CO ₂ をめざす。
	取組を推進する体制	各現場担当にて現場での排出量を想定し、事前にオフセットを行い、CO ₂ 排出ゼロ現場の表示を現場に掲出し啓蒙活動へつなげる。実施証書と寄付の感謝状を事務局に提出して報告とする。
取組 4	取組の詳細	当社理念の「地域社会への貢献と地球環境の保全に寄与する」を実現するべく、地域連携の取り組みとして加盟団体が締結している防災及び復旧支援協定における役割を担い協力を行う。地域行事の際の活動等に関する情報共有を積極的に行う。
	取組において、現時点で実施／決定していること	豊見城市の与根自治会との災害時支援協定締結に伴う合同防災訓練の継続実施。豊見城市との災害時支援協定の締結に伴う連絡網の確認（訓練含む）。
	取組において、今後予定していること	豊見城市防災士の会への加入（資格の取得）およびLINEによる情報の共有による地域レジリエンス対策の強化。
	KPIにする指標の設定理由、目標値の妥当性、指標の計測方法	比較対象ができないので、実施内容を持って評価とする。（１）与根自治会との合同防災訓練の実施（２）豊見城市との災害協定に基づく連絡網の確認（３）とみしろニュータウン自治会でのSNS犯罪対策講座の3件を基本とし、その他発展的に取り組んでいく。
	取組を推進する体制	営業部を窓口とし、全社対応のもと地域の方々と訓練等を実施する。また、地域行事の際のバトロールを含め情報共有を地域・社内LINE等で密に行う。実施後に事務局へ報告する。
取組 5	取組の詳細	当社理念の「地域社会への貢献と地球環境の保全に寄与する」を実現するべく、公園清掃ボランティア（2ヶ月に1回）、道路管理ボランティア（月1回）、地域行事への寄付（網走、まつり等）、スポーツ団体活動への協力及び寄付（遠征費、活動費の寄付、協会の役員としての活動承認、大会への協賛等）、赤い羽根・緑の羽根・赤十字への寄付を行う。
	取組において、現時点で実施／決定していること	・行政との協定に基づく活動（１）わかば公園清掃ボランティア（2ヶ月に1回）（２）若狭82号線グリーンロードサポート（月1回）（３）豊見城市美化活動（年2回）。 ・地域団体およびスポーツ団体への寄付・協賛 ・環境型提案営業の推進
	取組において、今後予定していること	・中部・北部／離島でのボランティア活動の実施。バラッドホールフュエルスタビリッシュ（しょうがい者）大会への協賛およびカーボンオフセットの実施 ・地域行事等への寄付・協賛の実施 ・環境型提案営業である「八重瀬町体育施設再エネ設備等導入事業」の実施
	KPIにする指標の設定理由、目標値の妥当性、指標の計測方法	比較対象ができないので、実施を持って評価とする。（１）協定に基づくボランティア活動の実施（２）地域行事・地域団体／スポーツ団体への寄付・協賛（３）「八重瀬町体育施設再エネ設備等導入事業」の実施を基本とし、その他発展的に取り組んでいく。
	取組を推進する体制	2025年度年度品質目標「SDGs（アテナ認証）推進で企業ブランドの向上を図る」を達成するべく、事務局を中心に全社的な対応で取り組む。